



青年は現場の大きな力 第29回 定期大会 権利・教育・9条守る憲法闘争を

大阪市教は5月20日定期大会を開催。今年も青年の発言が参加者に希望を上げました。さらに組織強化・拡大をすすめ、維新市政にたいするたたかいを強化する方針を決定しました。



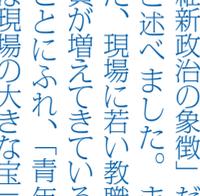
宮城委員長はあいさつで、今年大会が、権限移譲により全員が大阪市費教職員となった、「維新市政」の組合攻撃に抗し、自らの力で組合財政を確立した、市労組連闘争が本格化する中で開かれていくことをのべ、「戦争する国」づくりと一体となった監視社会づくりである「共謀罪」法案の成立を大会の名において許さないと宣言しました。また、3つの憲法闘争―労働者の権利を守る、教育への介入を許さない、9条改憲を許さない―を呼びかけました。(以下、討論の要旨)

組み、堺教組とのクリスマスパティティなどを通して、学び合いや青年の交流が深まっていることを述べました。



西大阪の青年支部長は、支部企画「しゃべり場」が、教育実践を「インプットするだけでなく、アウトプットする場」としての役割を果たしていることを述べました。HOW T Oだけではない、深い学びを共有することで青年組合員が増えてきたと報告。周りの素晴らしい先輩方に支えてもらい、「一緒に話すことで元氣」になる、支部の青年執行委員も増えていくことを述べました。

以上、現場がますます多忙化していること、権限移譲でグループリーダーに権限を持たせ、事務職員全員の勤務評価を行い、互いに評価させること、代替がアルバイト日給になり、人員が逃げ、「スーパードール」があることなど、厳しい状況を指摘。その中でも、実行委員会形式の「若手JIMU職員の会」を通して、組合員も増えた。「本音を話し合える場」が必要だと述べました。



城北支部からは学習指導要領について発言。小学校の英語教育に対する不信感、特定の価値観を押し付ける「教科道徳」の危険性、中学校のチャレンジテストで競争と管理が産党の岩崎賢太市議が議会報告。また、大阪市をよくなる会の福井朗事務局長が「2年前の住民投票で決着がついているのが『都』構想だ」と批判し、住吉市民病院を充実させる市民の会の辻井大介事務局長は「民間病院誘致は断念して市が市民病院の機能継続の責任を持つべきだ」と訴えました。

都構想 法定協の設置強行 反対市民集会に1千人

大阪市議会は5月26日の本会議で、「大阪都一構想」の設計図をつくる法定協議会設置議案を、維新、公明などの賛成多数で可決しました。大阪府を廃止・解体して複数の特別区に再編する「大阪都一構想」は2年前の住民投票で否決され、それを蒸し返すことは許されません。

小中一貫 デメリット明らか 目的は学校統廃合

「これでいいのかわからないのか」5月13日に開かれた小中一貫教育、許すな学校統廃合」大阪交流集会在大阪教育文化センター主催で

大阪市議会開会日・ランチタイム集会 大阪市なくすな！カジノより給食無償化



大阪府対策連絡会議(市対連)と府民要求連絡会(府民連)は、大阪市議会開会日の16日、「なくすな大阪市！カジノより給食無償化！市民要求実現！」と大阪府役所前でランチタイム集会を開き、約150

人が、「大阪市をつぶす『都』構想はいらない」「法定協議会設置するな」「カジノいらない」「住吉市民病院つぶすな」などと唱和しながらデモ行進し、大阪府教からも参加しました。

集会では、日本共

同の集会に1000人

小中一貫校になって、大変だった(困った)こと

- 遊ぶところをとられた(3年生)
- 中学生の試験中はおとなしくしないといけないので遊べない(4年生)
- 放課後部活があるのでグラウンドが使えない(4年生)
- 運動場の遊具が少なくなった(5年生)
- 小学生と中学生の休み時間がちがう為、うるさくて授業に集中できない(5年生)
- 保健室に中学生が多くいると使いにくい(6年生)
- 家から学校まで遠い、しかも徒歩(7年生)
- 小学生が早く授業が終わるため中学の授業中うるさくなる(8年生)
- 試験中うるさい・集中できない(9年生)
- 行事などは小学生中心のようになっている(9年生)

四條畷市3小学校、1中学校を廃校する計画(民間資金、ノウハウ活用)のPFI方式を見直す公約を掲げた市長が07年1月当選したことが報告されました。

退職されたみなさんを囲む会 ありがとうございました

退職されたみなさんを囲む会を5月26日パル法門坂で開催しました。「大阪市教の先輩のおかげで38年頑張れた」「組合がなかったら仕事を続けることができなかった」と退職者のみなさんが話し懇談が弾みました。